

3月29日に改定

相馬市復興計画 Ver.4.1

市は、東日本大震災を市民一丸となって乗り越え、新たな地域社会を構築するため、「相馬市復興計画」に基づき、各種復興施策に取り組んできました。

東日本大震災から10年が経過し、生活に密着したインフラ整備はおおむね終了したことから、今後は残された課題である心のケアなどの被災者支援や放射線対策、風評払しょくなどのソフト事業を中心とした復興施策を進めるため、3月29日に復興計画を「Ver.4.1」へと改定しました。

【基本理念】

被災者が自立した生活を営むことができるように、「**高齢者**、**子ども**、**青壮年層**」それぞれの人生のステージで、**生活再建**をどのように果たしていくか」を基本理念として各種事業を展開していきます。

高齢者

被災した高齢者が、新しい環境の中で安心して健やかに、共に助け合いながら生活を営むことができる環境をつくりまします。

子ども

▽放射線対策・検査を継続し、本市の子どもたちが放射線問題に対して自信を持ち、安心して成長できるように対応していきます。
▽将来に向かってたくましく主体的に生きることのできる人づくりを目指し、精神的なケアや学力向上に努め、強く豊かな心を持った社会的競争力のある子どもたちを育てていきます。

青壮年

▽災害市営住宅の払い下げなど、住まいの再建を支援していきます。
▽農業・漁業の復興と振興を図るとともに、企業誘致や既誘致企業の事業支援を行い、「雇用の場を確保していきます」。

【相馬市が目指す将来像】

本復興計画が目指す将来像を、平成29年2月に策定した総合計画「相馬市マスタープラン2017」に定めた将来像につなげていくことで、本市が東日本大震災を乗り越え、人と地域が相互に支え合いながら、将来とも安心して充実した生活を送ることができる、活力ある地域社会を築いていくことを目指します。

将来像実現のため、5つの主要テーマに基づき各種施策を実施します。

「相馬市復興計画」に定める将来像

相馬市民であることに

誇りを持てる相馬市の創造

力強い復興と

安心して子育てができる新しい相馬市

「相馬市マスタープラン2017」に定める将来像

「たくましく。

地域、暮らしをともに創り、

誇りをもてる相馬市へ」

5つの主要テーマ

1 被災者支援

被災者が健康で安心した生活を送れるよう支援を行います。

▽心身のケア



心の相談会

▽生活支援



チャルメラカーによる移動販売

▽医療体制の充実
▽コミュニティの再生・支援
など

2 放射線対策と風評払しょく

「正しく恐れ、賢く避ける」ことを基本とした放射線対策を実施するとともに、正確な情報発信などによる風評の払しょくに努めます。

▽放射線教育

▽内部・外部被ばく検査



外部講師による放射線講座

▽地産地消の推進・情報発信
など



風評払しょくの拠点となる相馬復興市民市場「浜の駅 松川浦」

3 産業・生業の再生

生活基盤を安定させるため、産業の再生・復興に向けた支援を行います。

▽農林業・漁業の再生



災害復旧した水田の稲刈り

▽企業誘致の推進
▽スポーツツーリズムの推進
▽交流人口の拡大
など



尾浜ビーチバレーボール場

4 子育て・教育

震災を乗り越え、たくましく生きていける子どもたちを育てていきます。

▽子育てしやすい環境づくり

▽児童生徒の学力向上

▽情操教育の推進
など



相馬子どもオーケストラ

5 震災を乗り越えた新しい相馬

震災の経験を活かし、よりよい相馬市を築くよう努めていきます。

▽震災の風化防止



震災前の原釜尾浜地区を再現したジオラマ

▽災害への備え
▽災害危険区域の跡地利用



災害跡地に整備された「尾浜子ども公園」

▽インフラの維持管理・活用
など

「相馬市復興計画 Ver.4.1」は、各公民館や図書館で閲覧できるほか、市ホームページにも掲載しています。



問い合わせ先

企画政策課

(☎) 372131